

# 中央機材室との連携による 経食道プローブの洗浄システムについて

当施設では、中央機材室の洗浄室と連携し、プローブの洗浄を行っている。  
以前は検査室で手洗いによる洗浄を行っていたが、  
検査件数の増加に伴い、洗浄室と連携するシステムが構築された。

プローブは番号で管理され、超音波診療技術部内の準備室の棚に保管。  
使用済みプローブは上段、未使用プローブは下段に置き、  
一目で識別できるようにしている。

検査後、担当者は使用したプローブの番号・日付・氏名を記録し、  
中央機材室の洗浄室のスタッフが確認のうえ、  
使用済みプローブの入ったケースとプローブ番号が記載された空箱を回収する。  
洗浄後のプローブは「洗浄後」札付きのケースに収納し、  
使用済み用の箱には「洗浄前」札を付け、  
持ち手に黄色のテープを貼ることで、視覚的にも識別しやすくしている。

このシステムにより、検査室での洗浄作業が不要となり、  
業務負担が軽減されたことで、より多くの検査を円滑に実施できるようになった。

